

森林やまがた

No. 64

2002 7月



写真左：田代山地区 対策工施工状況（平成14年4月26日）

写真右：田代山地区 災害発生時（平成12年4月24日）



目次

| | |
|-----------------------------------|----|
| 大江町内融雪災害復旧工事…… | 1 |
| 景観重視の復旧進む…… | 2 |
| 特用林産功労者表彰…… | 3 |
| 県民五万名が参加 「一家族一記念植樹」の取り組み… | 4 |
| 平成14年度森林オーナー推進事業… | 5 |
| 森林づくりに参加してみませんか… | 5 |
| 全国植樹祭に参加して…… | 6 |
| 現地ルポ 農林産物直売所管理・運営 「ふるさとショップ」…… | 7 |
| 地域材を利用した木造施設が完成… | 8 |
| 県産材の利用促進について…… | 9 |
| 山形県の古木・名木…… | 10 |
| 公共木造施設…… | 10 |
| 平成14年度源流の森主催プログラム… | 11 |

大江町の地すべり 景観重視の復旧進む

平成十二年春、大江町に大規模な地すべり災害が発生しました。

四月二十四日に大字貫見地内の田代山地区、五月二日に大字勝生地内の彦テロ地区と、立て続けに二件発生しました。

この地すべりの原因は、例年の二倍の積雪量による、融雪災と推定されました。

地すべりの概要

田代山地区地すべりは尾根直下から馬蹄型に発生し、斜面長約一、〇〇〇メートル、最大幅約三〇〇メートル、面積は十一ヘクタールに及ぶ規模で起きており、すべり面の深さは約十〜十五メートルとなっています。彦テロ地区地すべりは、斜面

長約三五〇メートル、幅約二〇

メートル、面積六ヘクタールの範囲と斜面長約二七〇メートル、幅約八〇メートル、面積三ヘクタールの範囲に発生し、頭部滑落崖の落差は最大で十五〜二十メートルに達しています。

田代山地区においては、この地すべりにより治山ダム四基が埋没し、橋長三十五メートルの八杯沢橋が約一〇〇メートル下流に流されました。

対策工について

一、田代山地区

地すべり頭部の土塊を取り除く「排土工」、地すべりを直接抑止する「杭打工」、深い層の地下水を排除する「集水井工」、集

水ボーリング工」、地すべり末端部の安定を図る「土留工」、水路工」、「流路工」、さらに下流への土砂流出を防止する「谷止工」を実施しました。平成十四年度も「排土工」を計画しています。

二、彦テロ地区

地すべりにより崩壊した箇所
の安定を図る「抑え盛土工」を
施工し、田代山地区同様、「土留
工」、「流路工」を実施しました。
平成十四年度も田代山地区の
「排土工」で発生した土砂を彦
テロ地区に運搬し、「抑え盛土
工」を計画しています。

発生材の利用

この二件の災害では大量の倒
木・伐根・枝条等が崩壊地区で
発生しました。これらは工事の
支障となることから、対策に急
を要しました。しかし、すぐに
は利用用途がなく、また、産業

廃棄物である支障木は、処分も
問題となりました。そこで、対
策工の構造物を現地発生材で施
工することを検討しました。

発生材を用いた構造物を作る
うえで、次のことに着目しまし
た。効率よく施工するための「施
工性」、安定度を考慮した「安
定性」、自然との調和を生み出す
「景観性」、コスト縮減を求めた
「経済性」、生態系への影響を配
慮した「保全性」、そして、将
来を見越した「耐久性」。

以上の課題について、地元関
係者、測量設計会社、施工業者、
発注者が協力し合って取り組ん
だ結果、木の暖かさが伝わって
くる、自然景観と調和した工事
ができました。

両地区の全体復旧額は六十億円
です。木材利用の有効性を追求し
ながら、早期の概成を目指します。
〔村山総合支庁 西村山森林整備課〕

特用林産功労者表彰

阿部 高雄さん (なめこ栽培 鮭川村)
竹田 総一さん (きのこ栽培 川西町)

去る五月二十三日、東京都内において、平成十四年度日本特用林産振興会総会が開催され、その席上で第十五回特用林産功労者表彰が行われました。

この表彰は、地域の特用林産の振興に永年にわたり尽力され、現在も活躍されている方に贈られるもので、本県からはこれまでに十五名が受賞されています。今年度は、鮭川村の阿部高雄さんと川西町の竹田総一さんの二名が受賞されましたので紹介します。

◎阿部 高雄さん

阿部さんは、昭和五十四年になめこ栽培を始め、村で最初に空調栽培に取り組み、先駆的・指導的活動を行ってきました。



阿部 高雄さん

この間、鮭川なめこ生産組合組合長、鮭川村菌茸連絡協議会会長などを歴任し、平成十三年から実施している鮭川村の「きのこの日」の制定に尽力されました。この「きのこの日」は年二回実施され、菌茸連絡協議会が学校給食の食材として、きのこを無償で提供しているほか、阿部さんなどの生産者が学校に赴き、きのこについての授業をおこなっています。

また、四名の生産者とともに

農事組合法人オークファームを設立、平成十三年度地域林業集約化型林業構造改善事業でなめこ生産施設を導入し、年間四百五十トンのなめこの生産を目指しています。

今後は、従来のなめこ生産に加え、体験農業と組み合わせた活動や、きのこ授業などの積極的な活動を計画されています。

◎竹田 総一さん

竹田さんは、冬期間の遊休労働力の活用による就労の場の確保と所得の向上を図るため、早くからヒラタケの施設栽培に着目し、栽培技術の研究と普及に努めるとともに、近隣農家に働きかけ山形川西農協しめじ生産組合の設立に尽力されました。組合結成当初より副組合長として、組織の強化、栽培技術の向上、周年栽培化を推進し、産地化の形成に努力なされました。



竹田 総一さん

また、平成三年には、市場評価が高まりつつあった菌床しいたけ栽培に着目し、栽培技術の研究と研鑽を重ね、組合員を含めた近隣地区への普及指導により、平成四年には、菌床しいたけ栽培への転換を図りました。

その後も川西菌茸生産組合長として、生産体制の強化、技術の向上を推進し、現在も川西町における菌床しいたけ栽培の指導的役割を担う存在として、後継者の育成を図るなど精力的に活躍されています。

阿部さん、竹田さん、受賞おめでとうございます。

〔県森林課〕

県民五万名が参加

「二家族一記念植樹」の取り組み

平成十四年六月二日、全国植

樹祭における天皇皇后両陛下の記念植樹にあわせ、森林及び環境緑化等への理解を深めていただくため、各家庭での記念植樹を呼びかけたところ、県内全市町村の協力のもとに、多くの県民に参加していただくことができました。取り組みの経緯等については次のとおりです。

一、取り組みの経緯

昨年十二月の県議会予算特別委員会の席上で、全国植樹祭に直接参加できない県民を対象に「記念植樹」を行っていただく提案があり、植樹祭の県民挙げの盛り上げを目指していた県としても、この提案を受けて取り組みることになったものです。

二、実行体制

県と市町村及び(財)山形県みどり推進機構の三者による実行体制を組み、県は企画及び予算措置、市町村は希望数量の取りまとめ及び配布、推進機構は苗木の手配と運搬及び記念証の作成等を担当し、準備態勢を整えました。



米沢市での配布状況

三、配布樹種及び記念証

特に、市町村には広報掲載等で周知を図るとともに、県民への直接配布を担当していただき、大変ご苦勞をおかけしました。

多数の申し込みが予想されることと準備期間の関係から、より手に入れやすいオオヤマザクラ、ヤマボウシ等八種類を選定しました。杉の間伐材を利用した記念証は、文字が明瞭なシルク印刷を採用し、裏面に書き込み可能な板状としました。

四、配布状況等

六月二日を挟んで配布し植樹祭の盛り上げを目指したところ、各市町村の独自企画と併せて実施する等、早いものは四月下旬からスタートし、六月下旬まで五月雨的な実施となりました。また、地区単位の実施や追加実施したところ等もあり、地域の実情にあった取り組みがなされ



村山市での家族植樹の状況

れたものと思います。

なお、参加状況としては、六月二十日現在で、約一万四千五百家庭、四十七団体(参加人員約五万人)となっております。

五、おわりに

全国植樹祭を契機にした「県民総参加の森林づくり運動」を推進するにあたり、多くの県民が参加した「二家族一記念植樹」の取り組みが、今後の本県の森林づくりの原動力になることを期待しております。

〔県森林課〕

平成十四年度 森林オーナー 推進事業

今年で四年目を迎える森林オーナー推進事業は、これまで県内八地区・一三五区画が整備され、好評を得ております。

御存知のとおり、森林オーナー制は、一定区画の森林を有料で一般の方に貸し出す制度であり、オーナーになれば自分の森林を自由に利用できる他、交流会等楽しい行事も企画されております。

平成十四年度は、新たに二地区・二十区画を整備しますので、興味のある方は是非この機会に一区画いかがでしょうか。

以下、今年度整備する二区画の概要をご説明いたします。

◎長井市草岡地区

- ・区画数 一〇区画
- ・一区画面積 一〇アール
- ・利用料金 年一万八千円程度
- ・契約期間 一〇年間
- ・その他 現地は農道に隣接
- ・問い合わせ先

西置賜ふるさと森林組合
☎〇二三八―八六一―二三二〇

◎尾花沢市鶴子地区

- ・区画数 一〇区画
- ・一区画面積 二〇アール
- ・利用料金 年四万円程度
- ・契約期間 五年間
- ・その他 現地には休憩用のログハウス有り
- ・問い合わせ先

山形県林業公社

☎〇二三―六二三―三五〇五

森林づくりに 参加して みませんか

地球温暖化の防止をはじめとする多様な機能を有する森林は、県民生活に欠かせない重要な存在となっております。

今後、森林の多様な機能を十分に発揮させるためには、森林の整備を県民総参加のもと地域社会全体で支えていくことが求められています。

森林課では、六月に開催された「第五十三回全国植樹祭」を契機に、県民の皆様が気軽に参加できる森林づくり行事を下記のとおり予定しておりますので、是非御参加ください。

◎森林づくり実践隊事業

- 内容 親子体験塾など
- 六月二十二日 尾花沢市鶴子
 - 九月十四日 大蔵村清水
 - 九月二十八日 飯豊町
 - 十月二十六日 尾花沢市鶴子
 - 十一月九日 羽黒町手向

◎二十二世紀の森づくりの会

- 内容 ブナの植栽
- 十月予定 飯豊町

◎海の幸を育む山に緑を

- 内容 広葉樹の植栽
- 十月十九日 遊佐町吹浦

問い合わせ先

山形県森林課森林総合利用係
☎〇二三―六三〇―二五二九

活動の報告
緑の少年団
全国植樹祭に参加して
金山町立有屋小学校
五年 阿部 ひかり



わたし達の有屋小学校は、大きく美しい竜馬山のふもとにあり、五十四名の「竜馬っ子」が元気いっぱい過ごしています。また、近くには、六月二日に行われた全国植樹祭の会場となった「遊学の森」があります。緑の少年団には、四年生以上の二十八名が入っていますが、その中で五、六年生が植樹祭に参加することができました。式典の中の介ぞえや合唱隊として大ぜいの方々から見ていただき、素晴らしい体験となりました。



植樹祭りハーサル風景

法の練習でした。わたしも、おじぎが下手で、かたや首が丸くなるので、家に帰ってから練習しました。会場でのリハーサルまで何度も練習をしたのに、苗木のぞうていをいっしょにする明義君とタイミングがあわず、「一、二、三」と声に出してそろうようにまた練習しました。本番ではあまりきん張しないで、心をこめたおじぎをすることができました。農林水産大臣に、「緑の森を全国に広げて下さい。」と言った時、テレビを見ている日本中の人々にも、緑を守り、緑となかよくなつてほしいなあと思いました。

植樹祭には天皇陛下や皇后陛下も来て下さいました。その優しい笑顔やお言葉に、わたし達緑の少年団員も感じました。また、予想以上のお客様に驚きましたが、これだけの人がみんな緑を大切にしてくれたら、うれしいなあと思います。わたし達が大人になった時、あの日植えた苗木も大きく育っていることでしょう。楽しみです。

さて、有屋小学校では、花いっぱい運動やクリーン作戦をしています。花いっぱい運動では、プランターにサルビア等の苗を植え、毎年玄関にかざっています。学校もはなやかにあります。学校を見ているわたし達の心も優しくなれるような気がします。

クリーン作戦の日には、通学班毎に道ばたのゴミ拾いをします。きれいな有屋になるように心をこめて拾っています。ゴミを捨てず自然をよごさないことも大事にしていきたいです。

森の緑を守るために、わたし達にもできることを考え、がんばって続けていきたいです。



花いっぱい運動

当森林組合は、合併して三年経過し、機関造林を主軸に事業拡大を図ってきましたが、年々事業量が減少の傾向にあります。道の駅物産館や国道一一三号線の立地条件を活かして、一市二町地域の農林産物の資源を掘り起こし、本物志向に応える地域特産品を消費者に提供を図る趣旨で新規事業として着手しました。

農林産物直売所は道の駅「飯豊めざみの里」の敷地内に設置されており、この施設の管理を引き受け、新鮮で安全な地元農林産物の提供をモットーに「ふるさとショップ」として、平成十三年五月一日オープンしました。

生産者直送の農産物・山菜・花・木炭・木工品等森林組合な

現地ルポ

新鮮・安く・安全

農林産物直売所「ふるさとショップ」
管理・運営



らではの産物、商品を豊富に取り揃えて、地元消費者はもとより、一般市民の方々が気軽にご利用され、愛される「ふるさとショップ」として成長するよう役職員一同頑張っています。

〔西置賜ふるさと森林組合〕



2年目を迎えた「ふるさとショップ」



旬の味「採りたての山菜・野菜」

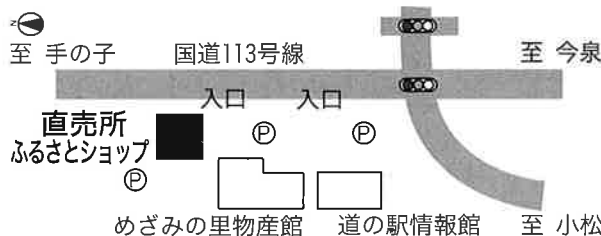


お客様は「老若男女」

平成13年度農林産物直売所「ふるさとショップ」状況

| 区分 | 売上 (円) | 客数 (人) | 一客当 り金額 (円) | 構成比 (%) | | | |
|------|------------|-----------|-------------------|----------|----------|-----|-----|
| | | | | 特用 販売 | 木炭 関連 | 購買品 | その他 |
| 利用組合 | 9,848,000 | | | | | | |
| 一般業者 | 12,089,000 | 20,141 | 922 | 93 | 4 | 2 | 1 |

ふるさとショップご案内図 ☎0238-74-2558



生産者直送「新鮮・安く・安全」

地域材を利用した木造施設が完成

天童北部多目的交流センター(天童市)
林間ふれあい野外ステージ(天童市)

県では、県産材の利用拡大を図るため公共施設の木造化・木質化を推進していますが、このたび、天童市に二つの木造公共施設が完成したので紹介します。

この二つの施設は、林野庁の補助事業である「地域材利用促進木造公共施設等整備事業」の採択を受けて、平成十三年度に建設したもので、地域材を使用したシンボルとなる木造公共施設や外構施設を整備することにより、木材・木造建築の良さを広く市民にPRすることを目的としたものです。

○天童北部多目的交流センター
(乱川地内)
当センターは、木造平屋一部二階建、延床面積九九九㎡で、地

域材をふんだんに使用しており、木のぬくもりとやさしさを実感できる施設となっています。



天童北部多目的交流センター

地域の交流拠点施設として、一階には多目的ホール、談話図書室、調理実習室、会議研修室、和室などがあり、二階には実習

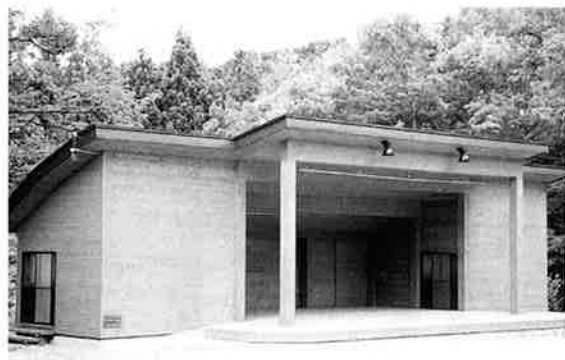
室、会議研修室などがあります。館内はできるだけ段差をなくし、廊下や階段には手すりを取り付けたほか、エレベーターも設置しており、高齢者や体の不自由な方も安心して利用できるように配慮されています。



館内

○林間ふれあい野外ステージ
(貫津地内)
当ステージは、ジャガラモガラに向かう林道沿いにある林間ふれあい広場に建設した延床面

積が八十六㎡の木造の屋根付きステージです。舞台の両袖には楽屋が設けられており、出演者の準備や着替えに使えるようになっています。



林間ふれあい野外ステージ

おわりに
当館内では、今年度も木造の公共施設の整備を実施しており、今後も木材の良さを普及啓発し、県産材の利用拡大に取り組んでまいります。
〔村山総合支庁森林整備課〕

普及情報

県産材の利用促進について

山形県森林整備長期計画における県産材の需要拡大

県では、平成十四年三月に策

定した「山形県森林整備長期計画」により循環型社会を担う森林づくりとして、人や環境にやさしい木材の需要拡大を図るため、今後十年の具体的な整備目標を定めております。

一、県産材の需要量について平成十一年の現況を基本として、五年後の平成十七年には、三万九千㎡、平成二十二年（十年後）には、八万㎡の増を目標としております。現在、製材工場における県内の木材需要量は、国産材と外材との比率が国産材四十五%、外材五十五%であります。長期計画の整備目標により国産材需要量の増加とあわせて、県産材の使用量を増やし、「地産地

消」を目指していくものです。

二、木造在来住宅における県産材の利用量は、現在、三十四%であるが、一・六倍の五十%まで引き上げる目標です。

三、公共建築物に占める木造施設の割合を現在の十四%から



新庄駅木造アーケード

施設全体の四分の一にあたる二十五%まで増やしていきます。

近年、建築基準法などの改正により大型の木造公共施設の建設が増えております。施設の紹介を随時していきたいと思っております。

また、主要な政策として、今年度からスタートした「山形の家づくり利子補給制度」は、県産材の主要な用途である住宅建築において、建築の施主に対する利子補給制度であります。

新築住宅の着工戸数は、平成十三年次に九千戸を下回り八千八百十五戸となり、長引く景気の低迷を受けておりますが、この制度を活用して県産材利用拡大を進め、林業・木材産業への経済的波及効果を狙いとしております。この制度は、柱の寸法を大きくするなど耐久性が高く長持ちする木造住宅の建築促進と住宅の主要部材である「構造材」で県産木材を体積の比率で六十%以上使用していただき県産木材

の需要拡大を図る制度です。

利子補給率は、県産木材使用住宅で一%、耐久性の高い住宅は〇・五%となっています。

対象戸数は、県産木材使用住宅で四百戸、耐久性の高い住宅は二百戸です。

七月一日から各総合支庁、分庁舎の建築課で申し込みを随時予定戸数に達するまで受け付けます。この制度を活用し県産材で家を建てませんか。

〔県森林課・林業専門技術員〕



木造在来住宅



藤島町大字添川の集落から東へ約1kmの山中にある株立状のスギで、古来「添川の根子スギ」として近郷近在にその名を知られ、両所神社のご神木として保護されてきた。

根元の周囲は、十三・七層におよび、地上一層の高さまでは完全にくっついていて一株と見られるが、その上は数本に分かれ、東側のものが最も太く周囲五・二層、細いものまで数えると八本立ちで、いずれも並立直上し、高さはおよそ三十五層に達している。

昭和二十七年四月一日山形県指定天然記念物に指定されている。

(山形県森林協会)



案内図



延床面積：458.31㎡
 完成年度：平成12年度
 構造：木造平屋建
 特徴：ほとんど国産材を使用
 その他：同一品目毎に並ぶ「ブース方式」をとっている。
 問い合わせ先：産直「たわわ」
 TEL 0234-61-1601



◆平成14年度 源流の森主催プログラム◆

○^{もり}森林と人々の関わりを学びながら、^{もり}森林の楽しさを実感し、^{もり}森林を共に育てていく学校です。

| 行事名 | 開催日程 | テーマ・内容 | 対象 | 定員 | 参加費 |
|---------------|--|---|----------|-----|----------------------------|
| 第32回 森林の学校 | 平成14年7月13日(土) ～14日(日)[1泊2日] (※全日程参加が基本です。) | テーマ：森に親しもう/ゲスト：未定 森の動物や植物を見つけたり、いろんな 自然体験で自分の感性をみがこう | 親子 子供 | 50名 | 子供：3,000円/人 一般：5,000円/人 |
| 第33回 森林の学校 | 平成14年8月10日(土) ～11日(日)[1泊2日] (※全日程参加が基本です。) | テーマ：森に遊ぼう ゲスト：山形県森林インストラクター協議会 森にとびこみ、自然に親しみ、野外活動の楽しさを体験しよう | 親子 子供 | | 子供：3,000円/人 一般：5,000円/人 |
| 第34回 森林の学校 | 平成14年9月7日(土) 8日(日)[土日両日] | テーマ：森の幸を求めて ゲスト：源流の森インタープリター 森と人のかかわりを考えながら、自然の恵みを楽しもう | 子供 一般 | | 1日あたり 500円/人 |
| 第35回 森林の学校 | 平成14年10月5日(土) 6日(日)[土日両日] | テーマ：中津川の自然と文化にふれる ゲスト：未定 歴史ある農山村の暮らしを学ぼう | 子供 一般 | | 1日あたり 500円/人 |
| 第36回 森林の学校 | 平成15年2月22日(土) ～23日(日)[1泊2日] (※全日程参加が基本です。) | テーマ：早春の森を楽しむ ゲスト：源流の森インタープリター 雪の中で春の芽吹き探しと地域文化を体験しよう | 親子 子供 | | 子供：3,000円/人 一般：5,000円/人 |

※参加費区分は、子供は中学生以下、一般は高校生以上です。

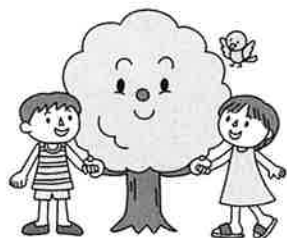


上記のほかイ
ベ
ントやコンサ
ートを予定して
おります。

お問い合わせ

山形県「源流の森センター」 TEL:0238-77-2077
山形県西置賜郡飯豊町大字須郷669-3 FAX:0238-77-2078
E-mail:genryu@jan.ne.jp ホームページ:http://www2.jan.ne.jp/~genryu
(財)山形県みどり推進機構 TEL:023-688-6633
山形市大字長谷堂字馬場2265 FAX:023-688-6634

山形県緑化事業協同組合連合会



会 長 齋 藤 博
専務理事 富 田 昌 弘

〒990-0045 山形市桜町2-35 林業会館内
TEL 023-632-5148
FAX 023-641-9288

山形県林業機械化協会

林業機械化の先端情報をすばやく提供

会長 奥 山 幸 作 (株ヤンマー農機山形 村山支店)

| 会員社名 (所在地) | 会員社名 (所在地) |
|--------------------------------|----------------------------------|
| (株)ヤンマー農機山形村山支店 (村山市大字榎山) | 日立建機(株)山形支店 (東根市大字若木字七窪) |
| (株)村 上 キ カ イ (酒田市両羽町) | (有) 東 栄 重 車 輛 (天童市大字清池字金石段) |
| (株)村 山 商 工 (米沢市松が岬) | コ マ ツ 山 形 (株) (山形市蔵王成沢字町浦) |
| 東北建設機械販売(株)山形支店 (天童市高嶺字金石段南) | エレクトラックスジャパン(株)バスカーナ事業部(盛岡市津志田) |
| (有) 林 和 機 工 (山形市馬見ヶ崎) | 東北ヤンマー(株)東日本営業部 (仙台市宮城野区福田町南) |
| 山形県森林組合連合会 (山形市蔵王成沢字町浦) | (株)筑水キャニコム仙台センター (仙台市太白区茂庭字人来田西) |
| 東北共立エコー(株)山形営業所 (東根市大字郡山字ノギハ) | (株)南星仙台営業所 (仙台市太白区砂押南町) |
| イワフジ工業(株)営業本部東北支店 (水沢市桜屋敷西5-1) | (株)山 工 社 (山形市宮町) |

山形県林業機械化協会事務局 山形市桜町2-35(林業会館内) TEL 023-633-1536 FAX 023-624-0804

21世紀の緑を美しく、
安らぎと輝きの森林と水を求めて



社団法人

山形県林業コンサルタント

理事長 菅原 六郎

山形市松栄一丁目5番41号 TEL (023)647-1800
FAX (023)647-1801



活かしてみましょ

夏のボーナスは
農林中金へ!

確定利回りの1年貯蓄



投資信託



どなたでもお気軽に

農林中央金庫山形事務所

〒990-0042 山形市七日町3-1-11
☎(023)641-6271



エリンギのガーリックバター炒め
(山形県きのこ料理発表会・推奨料理)

暑い夏にはきのこが一番!

きのこは低カロリーで栄養豊富な健康食品です。

きのこパワーで健康生活! “毎日食べよう山形きのこ”

山形県きのこ振興会

〒990-8570 山形市松波2-8-1 ☎023-630-2542

印刷所
渡辺活版所
定価
一部
二〇円

森林やまがた7月号 平成14年7月1日発行 通巻第64号

監修 山形県
編集・発行 山形県森林協会
〒990-0045 山形市桜町2-35 林業会館内
TEL 023-631-6566 023-622-8823
FAX 023-631-6573

「ゆとり都」森林課ホームページ <http://www.pref.yamagata.jp/ns/shinrin/index.html>
第53回全国植樹祭ホームページ <http://www.shokujusai-yamagata.jp>

古紙配合率100%再生紙を使用しています